

深セン・イノベーション株式 ファンド（1年決算型）

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2023年11月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「深セン・イノベーション株式ファンド（1年決算型）」は、2023年11月27日に第6期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年11月30日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「中国深セン・イノベーション・マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	深セン・イノベーション株式ファンド（1年決算型）	「中国深セン・イノベーション・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	中国深セン・イノベーション・マザーファンド	深セン証券取引所に上場されている中国企業の株式のほか、米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	深セン・イノベーション株式ファンド（1年決算型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	中国深セン・イノベーション・マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<643890>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 式 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
	円		円		%	百万円
2期(2019年11月25日)	9,532		0	35.1	97.8	38,634
3期(2020年11月25日)	15,178		0	59.2	95.4	39,638
4期(2021年11月25日)	21,187		0	39.6	97.6	57,422
5期(2022年11月25日)	14,059		0	△33.6	96.6	31,253
6期(2023年11月27日)	12,240		0	△12.9	97.1	24,537

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年11月25日	円		%	%
		14,059	—	96.6
11月末		13,819	△ 1.7	96.8
12月末		13,469	△ 4.2	96.3
2023年1月末		15,048	7.0	96.2
2月末		13,985	△ 0.5	96.1
3月末		14,039	△ 0.1	95.2
4月末		13,618	△ 3.1	96.5
5月末		14,156	0.7	97.0
6月末		14,870	5.8	96.4
7月末		13,965	△ 0.7	97.6
8月末		13,354	△ 5.0	96.6
9月末		12,715	△ 9.6	96.3
10月末		11,896	△15.4	96.4
(期 末) 2023年11月27日		12,240	△12.9	97.1

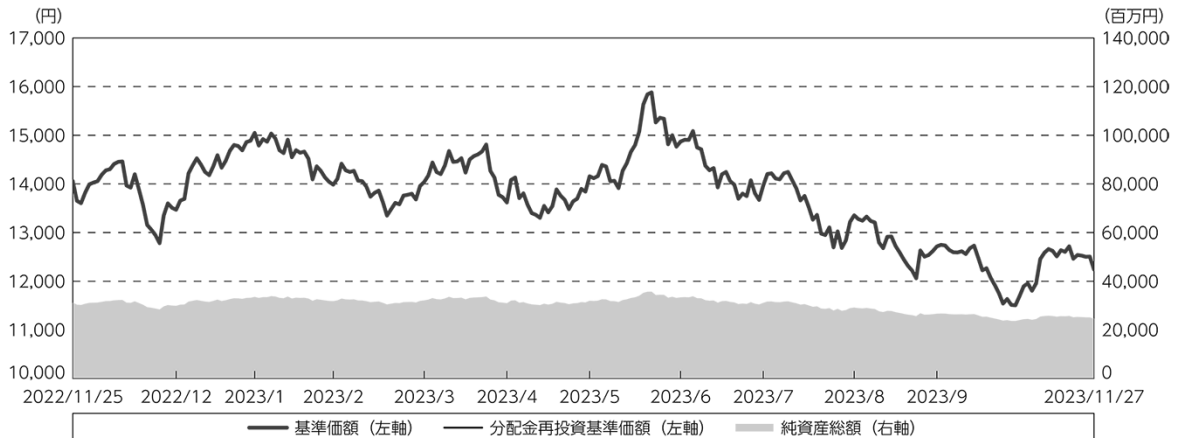
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2022年11月26日～2023年11月27日）

期中の基準価額等の推移



期首：14,059円

期末：12,240円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 12.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年11月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、深セン証券取引所に上場されている中国企業の株式に加えて、米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業の株式にも実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中国のゼロコロナ政策の転換を受けて経済再開期待や消費回復期待が高まったこと。
- ・中国政府による資本市場活性化策などの一連の景気対策が好材料となったこと。
- ・米国の利上げ長期化観測などを織り込んだアメリカドル高が進行するなかで、中国人民元やその他の通貨に対して円安が進行し、円ベース・リターンの押し上げ効果となったこと。

<値下がり要因>

- ・米中間の地政学的リスクの高まりや米国の利上げ長期化観測などが市場の重しとなったこと。
- ・中国の景気減速懸念や、不動産信用問題の再燃、中国人民元安などから市場が急落したこと。
- ・米国長期金利の急伸や中東情勢の悪化などから世界的な株安となったこと。

投資環境

（中国株式市況）

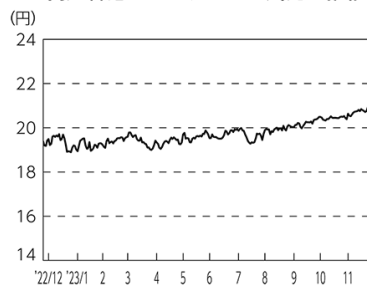
中国の株式市場は、期間の初めと比べて下落しましたが、円安による押し上げ効果で円ベース・リターンでは若干の上昇となりました。

期間の初めから2022年末にかけては、ゼロコロナ政策の撤廃による経済再開期待が高まる一方で本土における新型コロナウイルスの感染急拡大などが重しとなって市場は下落したものの、2023年の年明けからは、ゼロコロナ政策の撤廃を受けた経済再開期待や、消費回復期待、不動産やネット産業などへの規制緩和観測、景気支援策期待などを好材料に市場は春節（旧正月）にかけてほぼ一本調子で上昇しました。2023年2月から7月にかけては、米中間の地政学的リスクの高まりや、米国の利上げ継続観測、欧米発の金融不安などが重しとなり、AI（人工知能）など一部のテーマ投資に物色が集中しつつも市場は方向感に乏しく、利食い圧力などから軟調に推移しました。その後、中国経済の回復モメンタムの減速や不動産市場低迷などを背景に政府の景気対策期待が高まるなかで、中国共産党の中央政治局会議を経て不動産市場に対する規制緩和措置などの景気刺激策が好感されて市場は7月末に若干反発しました。しかし8月からは、引き続き主要マクロ経済指標が景気減速を示したことや、不動産開発大手の信用問題再燃、中国人民元安などからセンチメント（心理）が悪化し、市場は再び急落して年初来安値をつけました。その後も、アメリカドル高や米国長期金利の急伸、世界的な原油高、中東情勢の緊迫化などの悪材料から世界的な株安となり、市場は10月下旬に年初来安値を切り下げました。期間末にかけては、資本市場の活性化策や国債増発などの景気浮揚のための財政出動、米国長期金利の上昇一服などからセンチメントが回復して市場は緩やかな反発基調となりました。市場は期間の初めと比べて下落しましたが、米国の金利上昇を受けて中国人民元やその他通貨に対して円安が進み、円ベースでは期間の初めと比べて上昇して期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

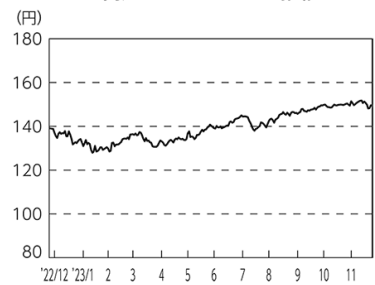
円／香港・オフショア人民元の推移



円／香港ドルの推移



円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「中国深セン・イノベーション・マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

（中国深セン・イノベーション・マザーファンド）

当ファンドの基準価額は、期間の初めと比べて大きく下落しました。

期間の初めから2023年2月にかけては、ゼロコロナ政策の撤廃と経済再開を受けて市場が大きく反発し、海外からの資金流入も急増するなかで、ファンドも市場に連れて上昇しました。ファンドでは、脱炭素化関連やテクノロジー・メディア・通信関連を中心に割安な成長株の安値拾いを進めました。

その後3月から7月にかけては、景気刺激策への期待の後退や不動産市場の低迷などが重しとなって市場は高値圏から下落し、年初来の上昇幅の大半を失いました。1－3月期の力強い景気回復の後、政府は財政政策の拡大を抑えて消費回復に期待しましたが、不動産販売が市場予想を上回る悪化を示し、軟調なマクロ経済指標や資金流出が続くなかでセンチメントが悪化しました。リスク選好度の低下を受けて低迷したグロース株へのエクスポージャーがマイナスに影響し、ファンドのパフォーマンスも出遅れました。

8月から期間末にかけては、中国政府が7月下旬から景気浮揚策へ舵を切ったものの市場では下落基調が続きました。米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めに対してタカ派（景気に対して強気）的な姿勢を維持し、中国市場からの資金流出が続きました。しかしながら市場は直近で変化しつつあり、中国政府は継続的な景気浮揚に努め、株式市場にも支援的な姿勢を維持しています。こうしたことから、ファンドではAI関連や、テクノロジー・メディア・通信関連、割安な脱炭素化関連株について、市場の反発と今後の強気相場に備えて積み増しを進めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期
	2022年11月26日～ 2023年11月27日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,883

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「中国深セン・イノベーション・マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行いません。

（中国深セン・イノベーション・マザーファンド）

当ファンドでは、2023年末に向けて引き続き中国A株市場に対する前向きな見方を維持しています。中国経済は2023年4－6月期に最悪期を脱して徐々に回復していると考えており、中国市場も底打ちしつつあるとみています。多くの産業で回復が見られ、10－12月期には収益成長が加速すると予想しています。加えて、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は底堅く、中国株式の株価割安度も平均を下回っています。また、ストック・コネクト（異なる証券取引所間での相互取引を可能にする制度）を通じた資金流出も間もなく好転すると考えています。その大きな理由は、FRBが今年の11月か12月に利上げサイクルを終了する可能性があることです。利上げ停止となれば新興国市場への資金流入が増加し、その中でも割安、かつ、大きくアンダーウェイトとされている中国株式が大きな恩恵を受けると予想しています。11月にはバイデン米国大統領と習近平国家主席が米国のカリフォルニア州サンフランシスコで開催されるアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議で会談予定であり、米中間の緊張が緩和される可能性があります。

こうした見通しの下、当ファンドでは市場が反発し、市場心理も大きく改善すると考え、リスク選好度の高いセクター・銘柄への投資配分を増やしていく方針です。具体的にはディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）性を評価するポジションから成長重視のセクターや銘柄へシフトして、通信や先端製造業などのエクスポージャーを一部縮小し、テクノロジーやメディア、バイオ医薬・革新的な創薬関連、脱炭素化関連銘柄を積み増す予定です。一方で、メディアやゲーム、コンピューティングパワー、AIアプリケーションなどのAI関連銘柄については長期的な観点から積極姿勢を維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

（2022年11月26日～2023年11月27日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	236	1.714	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(114)	(0.830)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(114)	(0.830)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	49	0.358	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(49)	(0.358)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	24	0.175	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(24)	(0.175)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.056	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(2)	(0.011)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	317	2.303	
期中の平均基準価額は、13,744円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

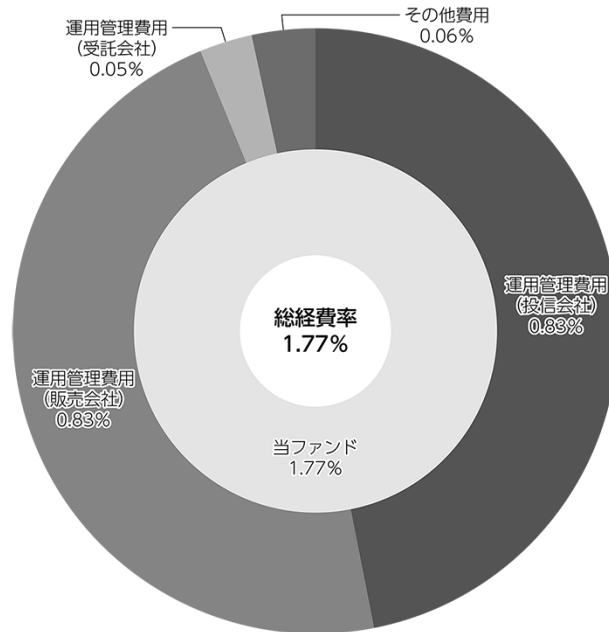
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月26日～2023年11月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
中国深セン・イノベーション・マザーファンド	773,199 千口	1,227,614 千円	2,937,644 千口	4,263,256 千円

○株式売買比率

(2022年11月26日～2023年11月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	中国深セン・イノベーション・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	83,601,866千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	29,382,723千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.84	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月26日～2023年11月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2022年11月26日～2023年11月27日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年11月26日～2023年11月27日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2023年11月27日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
中国深セン・イノベーション・マザーファンド		20,176,506	18,012,062	24,355,910

(注) 親投資信託の2023年11月27日現在の受益権総口数は、18,012,062千口です。

○投資信託財産の構成

（2023年11月27日現在）

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
中国深セン・イノベーション・マザーファンド	24,355,910	97.6
コール・ローン等、その他	610,591	2.4
投資信託財産総額	24,966,501	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 中国深セン・イノベーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（24,351,007千円）の投資信託財産総額（24,708,852千円）に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.52円、1香港ドル=19.19円、1香港・オフショア人民元=20.916円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年11月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,966,501,058
コール・ローン等	508,994,569
中国深セン・イノベーション・マザーファンド(評価額)	24,355,910,428
未収入金	101,596,061
(B) 負債	429,117,249
未払解約金	173,266,665
未払信託報酬	251,728,252
未払利息	159
その他未払費用	4,122,173
(C) 純資産総額(A-B)	24,537,383,809
元本	20,047,045,890
次期繰越損益金	4,490,337,919
(D) 受益権総口数	20,047,045,890口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,240円

(注) 当ファンドの期首元本額は22,230,625,969円、期中追加設定元本額は4,479,905,246円、期中一部解約元本額は6,663,485,325円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,2240円です。

○損益の状況（2022年11月26日～2023年11月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 157,035
受取利息	896
支払利息	△ 157,931
(B) 有価証券売買損益	△ 3,153,101,142
売買益	426,344,217
売買損	△ 3,579,445,359
(C) 信託報酬等	△ 525,405,861
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,678,664,038
(E) 前期繰越損益金	△ 2,751,739,148
(F) 追加信託差損益金	10,920,741,105
(配当等相当額)	(8,590,676,043)
(売買損益相当額)	(2,330,065,062)
(G) 計(D+E+F)	4,490,337,919
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	4,490,337,919
追加信託差損益金	10,920,741,105
(配当等相当額)	(8,593,046,177)
(売買損益相当額)	(2,327,694,928)
分配準備積立金	7,210,744,559
繰越損益金	△13,641,147,745

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2022年11月26日～2023年11月27日の期間に当ファンドが負担した費用は150,896,653円です。

(注) 分配金の計算過程(2022年11月26日～2023年11月27日)は以下の通りです。

項 目	2022年11月26日～ 2023年11月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,593,046,177円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	7,210,744,559円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	15,803,790,736円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,883円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2022年11月26日から2023年11月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、その商品性、基準価額水準および純資産規模等を勘案し、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、信託期間を無期限とするよう、2023年8月26日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第4条、第57条）
- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年8月26日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第21条、第22条、第23条、第28条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

中国深セン・イノベーション・マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2023年11月27日）
（2022年11月26日～2023年11月27日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年11月30日から原則無期限です。
運用方針	主として、中国企業の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	深セン証券取引所に上場されている中国企業の株式のほか、米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、深セン証券取引所に上場されている中国企業の株式に加えて、米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業の株式にも投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。なお、ファンドの状況などによっては、上場投資信託証券などに投資する場合があります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
2期(2019年11月25日)	円		%	%	百万円
	9,811		37.7	99.0	38,201
3期(2020年11月25日)	15,998		63.1	97.7	38,730
4期(2021年11月25日)	22,766		42.3	98.6	56,810
5期(2022年11月25日)	15,292		△32.8	97.8	30,854
6期(2023年11月27日)	13,522		△11.6	97.8	24,355

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年11月25日	円		%	%
	15,292		—	97.8
11月末	15,032		△ 1.7	98.0
12月末	14,666		△ 4.1	97.3
2023年1月末	16,432		7.5	97.7
2月末	15,276		△ 0.1	97.5
3月末	15,357		0.4	96.4
4月末	14,913		△ 2.5	97.6
5月末	15,533		1.6	97.9
6月末	16,346		6.9	97.9
7月末	15,363		0.5	98.7
8月末	14,703		△ 3.9	97.5
9月末	14,011		△ 8.4	97.3
10月末	13,121		△14.2	97.4
(期 末) 2023年11月27日	13,522		△11.6	97.8

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年11月26日～2023年11月27日)

基準価額の推移

期間の初め15,292円の基準価額は、期間末に13,522円となり、騰落率は△11.6%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中国のゼロコロナ政策の転換を受けて経済再開期待や消費回復期待が高まったこと。
- ・中国政府による資本市場活性化策などの一連の景気対策が好材料となったこと。
- ・米国の利上げ長期化観測などを織り込んだアメリカドル高が進行するなかで、中国人民元やその他の通貨に対して円安が進行し、円ベース・リターンへの押し上げ効果となったこと。

<値下がり要因>

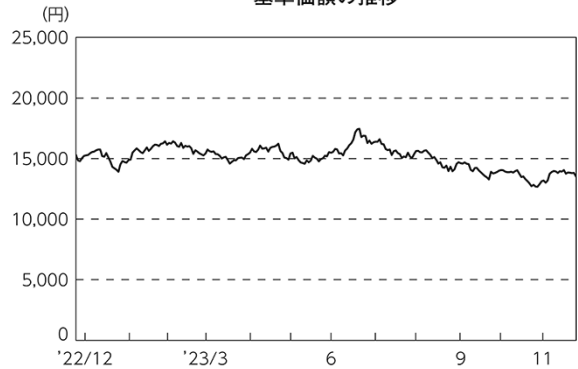
- ・米中間の地政学的リスクの高まりや米国の利上げ長期化観測などが市場の重しとなったこと。
- ・中国の景気減速懸念や、不動産信用問題の再燃、中国人民元安などから市場が急落したこと。
- ・米国長期金利の急伸や中東情勢の悪化などから世界的な株安となったこと。

(中国株式市況)

中国の株式市場は、期間の初めと比べて下落しましたが、円安による押し上げ効果で円ベース・リターンでは若干の上昇となりました。

期間の初めから2022年末にかけては、ゼロコロナ政策の撤廃による経済再開期待が高まる一方で本土における新型コロナウイルスの感染急拡大などが重しとなって市場は下落したものの、2023年の年明けからは、ゼロコロナ政策の撤廃を受けた経済再開期待や、消費回復期待、不動産やネット産業などへの規制緩和観測、景気支援策期待などを好材料に市場は春節（旧正月）にかけてほぼ一本調子で上昇しました。2023年2月から7月にかけては、米中間の地政学的リスクの高まりや、米国の利上げ継続観測、欧米発の金融不安などが重しとなり、AI（人工知能）など一部のテーマ投資に物色が集中しつつも市場は方向感に乏しく、利食い圧力などから軟調に推移しました。その後、中国経済の回復モメンタムの減速や不動産市場低迷などを背景に政府の景気対策期待が高まるなかで、中国共産党の中央政治局会議を経て不動産市場に対する規制緩和措置などの景気刺激策が好感されて市場は7月末に若干反発しました。しかし8月からは、引き続き主要マクロ経済指標が景気減速を示したことや、不動産開発大手の信用問題再燃、中国人民元安などからセンチメント（心理）が悪化し、市場は再び急落して年初来安値をつけました。その後も、アメリカドル高や米国長期金利の急伸、世界

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/11/25	2023/06/21	2023/10/27	2023/11/27
15,292円	17,464円	12,683円	13,522円

的な原油高、中東情勢の緊迫化などの悪材料から世界的な株安となり、市場は10月下旬に年初来安値を切り下げました。期間末にかけては、資本市場の活性化策や国債増発などの景気浮揚のための財政出動、米国長期金利の上昇一服などからセンチメントが回復して市場は緩やかな反発基調となりました。市場は期間の初めと比べて下落しましたが、米国の金利上昇を受けて中国人民元やその他通貨に対して円安が進み、円ベースでは期間の初めと比べて上昇して期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

当ファンドの基準価額は、期間の初めと比べて大きく下落しました。

期間の初めから2023年2月にかけては、ゼロコロナ政策の撤廃と経済再開を受けて市場が大きく反発し、海外からの資金流入も急増するなかで、ファンドも市場に連れて上昇しました。ファンドでは、脱炭素化関連やテクノロジー・メディア・通信関連を中心に割安な成長株の安値拾いを進めました。

その後3月から7月にかけては、景気刺激策への期待の後退や不動産市場の低迷などが重しとなって市場は高値圏から下落し、年初来の上昇幅の大半を失いました。1-3月期の力強い景気回復の後、政府は財政政策の拡大を抑えて消費回復に期待しましたが、不動産販売が市場予想を上回る悪化を示し、軟調なマクロ経済指標や資金流出が続くなかでセンチメントが悪化しました。リスク選好度の低下を受けて低迷したグロース株へのエクスポージャーがマイナスに影響し、ファンドのパフォーマンスも出遅れました。

8月から期間末にかけては、中国政府が7月下旬から景気浮揚策へ舵を切ったものの市場では下落基調が続きました。米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めに対してタカ派（景気に対して強気）的な姿勢を維持し、中国市場からの資金流出が続きました。しかしながら市場は直近で変化しつつあり、中国政府は継続的な景気浮揚に努め、株式市場にも支援的な姿勢を維持しています。こうしたことから、ファンドではAI関連や、テクノロジー・メディア・通信関連、割安な脱炭素化関連株について、市場の反発と今後の強気相場に備えて積み増しを進めました。

○今後の運用方針

当ファンドでは、2023年末に向けて引き続き中国A株市場に対する前向きな見方を維持しています。中国経済は2023年4－6月期に最悪期を脱して徐々に回復していると考えており、中国市場も底打ちしつつあるとみています。多くの産業で回復が見られ、10－12月期には収益成長が加速すると予想しています。加えて、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は底堅く、中国株式の株価割安度も平均を下回っています。また、ストック・コネクト（異なる証券取引所間での相互取引を可能にする制度）を通じた資金流出も間もなく好転すると考えています。その大きな理由は、FRBが今年の11月か12月に利上げサイクルを終了する可能性があることです。利上げ停止となれば新興国市場への資金流入が増加し、その中でも割安、かつ、大きくアンダーウェイトとされている中国株式が大きな恩恵を受けると予想しています。11月にはバイデン米国大統領と習近平国家主席が米国のカリフォルニア州サンフランシスコで開催されるアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議で会談予定であり、米中間の緊張が緩和される可能性があります。

こうした見通しの下、当ファンドでは市場が反発し、市場心理も大きく改善すると考え、リスク選好度の高いセクター・銘柄への投資配分を増やしていく方針です。具体的にはディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）性を評価するポジションから成長重視のセクターや銘柄へシフトして、通信や先端製造業などのエクスポージャーを一部縮小し、テクノロジーやメディア、バイオ医薬・革新的な創薬関連、脱炭素化関連銘柄を積み増す予定です。一方で、メディアやゲーム、コンピューティングパワー、AIアプリケーションなどのAI関連銘柄については長期的な観点から積極姿勢を維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月26日～2023年11月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 55 (55)	% 0.363 (0.363)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	27 (27)	0.177 (0.177)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.041 (0.040) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	88	0.581	
期中の平均基準価額は、15,062円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月26日～2023年11月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	香港	百株 68,200	千香港ドル 192,109	百株 42,683	千香港ドル 217,103
	中国オフショア	591,580 (18,051)	千香港・オフショア人民元 1,884,550 ()	533,557	千香港・オフショア人民元 1,991,569

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年11月26日～2023年11月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	83,601,866千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	29,382,723千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.84

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月26日～2023年11月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年11月26日～2023年11月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年11月27日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
		株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
AKESO INC - B	5,000	5,000	23,425	449,525	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BAIDU INC-CLASS A	—	2,500	29,550	567,064	メディア・娯楽
GENSCRIPT BIOTECH CORP	8,000	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HUA HONG SEMICONDUCTOR LTD	6,500	—	—	—	半導体・半導体製造装置
INNOVENT BIOLOGICS INC	—	4,200	18,375	352,616	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
KUAI SHOU TECHNOLOGY	3,500	—	—	—	メディア・娯楽
MEITU INC	—	45,000	15,930	305,696	メディア・娯楽
MEITUAN-CLASS B	1,400	1,300	14,183	272,171	消費者サービス
SUNNY OPTICAL TECH	1,800	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	5,800	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WUXI APPTTEC CO LTD-H	2,483	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
XPENG INC - CLASS A SHARES	—	2,000	14,450	277,295	自動車・自動車部品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	34,483 8	60,000 6	115,913 <9.1%>	
(中国オフショア)			千香港・オフショア人民元		
ADVANCED MICRO-FABRICATION-A	—	1,898	30,530	638,566	半導体・半導体製造装置
ALPHA GROUP-A	—	14,999	12,074	252,555	耐久消費財・アパレル
ASYMCHAM LABORATORIES TIAN-A	—	1,099	15,584	325,958	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AVIC JONHON OPTRONIC TECH-A	5,598	2,997	12,008	251,173	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
KUNLUN TECH CO LTD-A	—	5,999	19,924	416,735	メディア・娯楽
BEIJING KINGSOFT OFFICE SO-A	1,200	800	24,166	505,464	ソフトウェア・サービス
BEIJING COMPASS TECHNOLOGY-A	3,000	2,998	17,316	362,193	金融サービス
BEIJING ULTRAPOWER SOFTWARE-A	—	27,998	24,218	506,564	ソフトウェア・サービス
BYD CO LTD -A	2,197	1,497	32,475	679,261	自動車・自動車部品
CHANGCHUN HIGH & NEW TECH-A	900	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHINA ZHENHUA GROUP SCIENC-A	2,499	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CHONGQING ZHIFEI BIOLOGICA-A	3,997	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHINA NATIONAL SOFTWARE -A	3,799	—	—	—	ソフトウェア・サービス
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	2,598	4,207	73,633	1,540,122	資本財
DAJIN HEAVY INDUSTRY CO LT-A	5,998	—	—	—	資本財
DIGITAL CHINA GROUP CO LTD-A	—	3,500	11,263	235,576	ソフトウェア・サービス
DONGGUAN YIHEDA AUTOMATION-A	2,299	—	—	—	資本財
EAST MONEY INFORMATION CO-A	40,175	33,087	49,234	1,029,795	金融サービス
EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A	—	2,499	10,640	222,548	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
EVE ENERGY CO LTD-A	2,000	2,399	10,437	218,318	資本財
FORYOU CORP	3,998	—	—	—	自動車・自動車部品
FOCUS TECHNOLOGY CO LTD-A	—	5,000	16,060	335,910	メディア・娯楽
GINLONG TECHNOLOGIES CO LT-A	2,199	1,600	11,062	231,381	資本財
GUANGZHOU TINCI MATERIALS -A	3,999	—	—	—	素材
GUANGZHOU SIE CONSULTING C-A	4,999	—	—	—	ソフトウェア・サービス
HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-A	2,499	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HEBEI SINOPACK ELECTRONIC -A	—	1,199	10,862	227,207	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HITHINK ROYALFLUSH INFORMA-A	—	1,200	16,953	354,601	金融サービス
HOYMILES POWER ELECTRONICS-A	—	500	11,083	231,812	資本財
HUIZHOU DESAY SV AUTOMOTIV-A	2,196	796	10,722	224,264	自動車・自動車部品
HUBEI FEILIHUA QUARTZ GLAS-A	2,800	—	—	—	素材

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(中国オフショア)	百株	百株	千ユーロ・オフショア人民元	千円	
HUBEI DINGLONG CO LTD-A	11,949	6,949	16,747	350,282	素材
IFLYTEK CO LTD-A	—	5,698	26,428	552,776	ソフトウェア・サービス
IMEIK TECHNOLOGY DEVELOPME-A	349	349	11,383	238,106	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INGENIC SEMICONDUCTOR CO -A	—	1,599	11,113	232,456	半導体・半導体製造装置
JA SOLAR TECHNOLOGY CO LTD-A	7,990	12,086	26,154	547,046	半導体・半導体製造装置
JIANGSU YUYUE MEDICAL EQU-A	2,999	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
JCET GROUP CO LTD-A	—	8,500	26,146	546,869	半導体・半導体製造装置
JIANGSU ZHONGTIAN TECHNOLO-A	—	8,000	10,960	229,239	資本財
JIANGSU TOLAND ALLOY CO LT-A	6,000	4,000	11,996	250,908	素材
GOODWE TECHNOLOGIES CO LTD-A	999	—	—	—	資本財
JIANGSU NHWA PHARMACEUTICA-A	—	8,000	20,352	425,682	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JUSHRI TECHNOLOGIES INC-A	—	7,000	11,956	250,071	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
KBC CORP LTD-A	697	—	—	—	素材
KINGNET NETWORK CO LTD-A	—	25,000	30,375	635,323	メディア・娯楽
LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A	9,029	3,999	12,421	259,798	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MONTAGE TECHNOLOGY CO LTD-A	—	3,600	20,754	434,090	半導体・半導体製造装置
NAURA TECHNOLOGY GROUP CO-A	1,099	499	11,774	246,281	半導体・半導体製造装置
NINGBO TUOPU GROUP CO LTD-A	2,699	—	—	—	自動車・自動車部品
NINGBO ORIENT WIRES & CABL-A	3,999	—	—	—	資本財
NORTHKING INFORMATION TECH-A	7,497	—	—	—	ソフトウェア・サービス
PHARMARON BEIJING CO LTD-A	2,899	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PIESAT INFORMATION TECHNOL-A	—	2,300	11,525	241,063	ソフトウェア・サービス
PYLON TECHNOLOGIES CO LTD-A	800	—	—	—	資本財
SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	3,498	1,798	11,246	235,234	資本財
SHENZHEN SUNLORD ELECTRONI-A	—	4,500	12,226	255,729	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SHENZHEN KAIFA TECHNOLOGY-A	—	9,999	16,548	346,128	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A	597	397	11,250	235,307	ヘルスケア機器・サービス
SHENZHEN ENVICOO TECHNOLO-A	5,500	—	—	—	資本財
TOFFLON SCIENCE & TECHNOLO-A	10,000	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SHENZHEN FASTPRINT CIRCUIT-A	—	9,998	15,478	323,742	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SHENZHEN ZHAOWEI MACHINERY-A	—	2,500	18,825	393,743	資本財
SHENZHEN NEW INDUSTRIES BI-A	—	2,698	18,541	387,811	ヘルスケア機器・サービス
SHENZHEN LIFOTRONIC TECHNO-A	—	5,000	11,935	249,632	ヘルスケア機器・サービス
SHENZHEN SINEXCEL ELECTRIC-A	—	3,935	10,865	227,270	資本財
SINOMINE RESOURCE GROUP CO-A	1,899	—	—	—	素材
STARPOWER SEMICONDUCTOR LT-A	450	—	—	—	半導体・半導体製造装置
SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	3,997	3,997	33,770	706,348	資本財
SUZHOU DONGSHAN PRECISION-A	7,500	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SUZHOU TFC OPTICAL COMMUNI-A	—	3,698	27,427	573,665	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SUZHOU MAXWELL TECHNOLOGIE-A	598	—	—	—	資本財
SUZHOU RECODEAL INTERCONNE-A	—	3,000	13,056	273,079	資本財
THUNDER SOFTWARE TECHNOLOG-A	2,598	1,597	13,257	277,290	ソフトウェア・サービス
TONGFU MICROELECTRONIC CO-A	—	8,998	20,245	423,460	半導体・半導体製造装置
UNIGROUP GUOXIN MICROELECT-A	1,399	—	—	—	半導体・半導体製造装置
WESTONE INFORMATION INDUST-A	3,500	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WESTERN SUPERCONDUCTING TE-A	2,999	—	—	—	素材
WILL SEMICONDUCTOR LTD-A	—	999	10,348	216,444	半導体・半導体製造装置
37 INTERACTIVE ENTERTAINME-A	—	10,000	22,410	468,727	メディア・娯楽
WUXI APPTec CO LTD-A	—	1,400	11,726	245,269	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
XINXIANG RICHFUL LUBE ADDI-A	1,099	—	—	—	素材
YUNNAN ENERGY NEW MATERIAL C-A	1,398	—	—	—	素材

銘柄	株数	当 期		業 種 等
		株数	評 価 額	
(中国オフショア)	百株	百株	千円	
ZHEJIANG SANHUA INTELLIGEN-A	10,000	6,500	18,304	資本財
ZHEJIANG JINGSHENG MECHAN-A	6,499	—	—	半導体・半導体製造装置
ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A	—	3,299	31,146	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ZHEJIANG SUPCON TECHNOLOGY-A	1,600	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ZTE CORP-A	7,998	8,997	23,617	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株数・金額	231,103	307,177	21,597,196
	銘柄数<比率>	53	55	<88.7%>
合 計	株数・金額	265,586	367,177	23,821,567
	銘柄数<比率>	61	61	<97.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年11月27日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
株式	千円 23,821,567	% 96.4
コール・ローン等、その他	887,285	3.6
投資信託財産総額	24,708,852	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(24,351,007千円)の投資信託財産総額(24,708,852千円)に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.52円、1香港ドル=19.19円、1香港・オフショア人民元=20.916円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月27日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	24,708,852,614	
コール・ローン等	657,221,637	
株式(評価額)	23,821,567,320	
未収入金	226,848,120	
未収配当金	3,215,537	
(B) 負債	352,909,361	
未払金	251,313,267	
未払解約金	101,596,061	
未払利息	33	
(C) 純資産総額(A-B)	24,355,943,253	
元本	18,012,062,142	
次期繰越損益金	6,343,881,111	
(D) 受益権総口数	18,012,062,142口	
1万口当たり基準価額(C/D)	13,522円	

(注) 当ファンドの期首元本額は20,176,506,791円、期中追加設定元本額は773,199,459円、期中一部解約元本額は2,937,644,108円です。

(注) 2023年11月27日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・深セン・イノベーション株式会社ファンド(1年決算型) 18,012,062,142円

(注) 1口当たり純資産額は1,3522円です。

○損益の状況 (2022年11月26日～2023年11月27日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	153,412,783	
受取配当金	153,430,930	
受取利息	88	
支払利息	△ 18,235	
(B) 有価証券売買損益	△ 3,604,499,448	
売買益	5,646,248,963	
売買損	△ 9,250,748,411	
(C) 保管費用等	△ 12,218,639	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,463,305,304	
(E) 前期繰越損益金	10,678,383,810	
(F) 追加信託差損益金	454,414,756	
(G) 解約差損益金	△ 1,325,612,151	
(H) 計(D+E+F+G)	6,343,881,111	
次期繰越損益金(H)	6,343,881,111	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年11月26日から2023年11月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化するべく、2023年8月26日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第19条、第20条、第21条、第26条)